

第384回三木市議会定例会 市長 閉会あいさつ

令和6年12月23日

閉会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

このたびの市議会定例会におきましては、11月27日の開会以来、27日間にわたり、総合計画基本計画の変更や条例改正、各会計補正予算など多数の重要案件について、ご審議をいただきました。

この間、議員の皆さまにおかれましては、終始ご精励を賜り、本会議並びに各常任委員会において、それぞれ慎重なるご審議を尽くされましたことに対しまして、心から感謝を申し上げます。

市政の羅針盤となる総合計画の基本計画につきましては、策定から5年を経過し、社会情勢の変化等に対応できるよう、改訂を行いました。少子高齢化、人口減少社会において、労働力不足や地域コミュニティの担い手不足などが懸念されている中、変化する社会情勢にしっかりと対応し、「誇りを持って暮らせるま

ち三木」をめざし、まちづくりを進めてまいります。議員の皆様におかれましても、ふるさと三木に対する熱い思いを持って、これからの本市の発展のため、「チーム三木」の一員として、ともに取り組んでまいりましょう。

さて、令和7年春の開駅を目指し、整備を進めている「道の駅よかわ」について、今月8日に、道の駅登録証の伝達式を開催しました。三木市北部の地域活性化の拠点となるよう進めており、「山田錦の館」の農産物直売所等をリニューアルし、農産物及び加工品も含めた取扱商品の充実などにより魅力を高め、利用客の増加につなげます。また、「道の駅よかわ」の開駅を契機とし、将来に向けて三木市の特産「山田錦」の魅力をさらに発信するとともに、農村の活性化にも取り組んでまいります。現在、農村の活性化の取組として、三木市地域おこし協力隊を募集しています。三木市地域おこし協力隊は、「道の駅よかわ」を活動拠点とし、新規就農者として農業に従事する傍ら、農村におけるまちづくり活動を行っていただきます。持続可能な農村の構築を目指し、農村の活性化及び持続的な発展を図ってまいります。

少子化による生徒数の減少や入部率の低下による部員不足の

ほか、教員の働き方改革などにより、学校部活動の存続が難しくなっている状況の中、子どもたちのスポーツ・文化活動の振興のため、国は、学校部活動を地域クラブ活動へ展開することを自治体に求めています。市としましても、学校、地域と連携しながら、地域クラブ活動への展開を進めてまいります。先月には、「三木市における地域クラブ活動展開ガイドライン」を策定するとともに、地域クラブに関する講演会を開催し、今月には、「広報みき12月号」において地域クラブ活動についてお知らせするとともに、地域クラブの展開に関する説明会を開催しました。このように、十分に周知を図りながら令和10年1月からの地域クラブ活動のスタートをめざし、取組を進めてまいります。将来にわたり子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保します。

合わせて、本市の地域クラブ展開の先行事業として、令和7年度には、地域資源を活かしたゴルフクラブを新設します。これに向けて、来月、小学6年生及び中学1・2年生を対象に、ゴルフ体験会を開催します。この機会に、ぜひゴルフに触れていただきたいと考えています。子どもたちがゴルフに触れ、楽しむ環境がある、これを本市の教育の魅力として発信してまいります。

年の瀬もいよいよ押し迫り、本年も余すところあとわずかとなつてまいりました。

議員の皆さま、市民の皆さまには、どうか健やかなる新年をご家族お揃いでお迎えになられることをご祈念申し上げ、閉会のあいさつといたします。

ありがとうございました。